

草津市版地域再生計画

笠縫東学区 まちづくりプラン



令和4年3月

笠縫東学区まちづくり協議会

草津市

・・・ 目 次 ・・・

1. まちづくりプランの位置づけ	1
2. 笠縫東学区の状況	2
3. 笠縫東学区のまちづくりの経緯	9
4. 笠縫東学区の課題	10
5. 基本方針と施策メニュー	12
6. 推進計画の進行管理	14
7. 笠縫東学区まちづくりプラン策定の体制・経過	15

1. まちづくりプランの位置づけ

(1) まちづくりプランとは

- ・草津市版地域再生計画で掲げた課題の解決や将来ビジョンの具現化に向けて、対象学区ごとに地元でのワークショップ等で検討した事項を反映させ、具体的に取り組む施策などを取りまとめた実行計画にあたります。
- ・実効性の高い計画とするために、短期（4～5年を目安）計画とし、施策の進捗管理を行いながら必要に応じて、見直しなども行いながら、確実に施策の推進を図っていくものです。

(2) まちづくりプランの位置づけ

- ・まちづくりプランの位置づけについては、図-1 に示すように上位計画として、「総合計画」および「大津市湖南都市計画区域マスタープラン」、「都市計画マスタープラン」があり、関連計画として「健幸都市基本計画」があります。
- ・これらの計画を踏まえながら、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりの実現に向けた「地域再生計画」「立地適正化計画」「地域公共交通網形成計画」の3つの計画が互いに連携して取組みを推進しています。
- ・まちづくりプランは、この中の草津市版地域再生計画の方針に基づき、その他の関連計画と連携しながら、具体的な実行計画を示すものです。

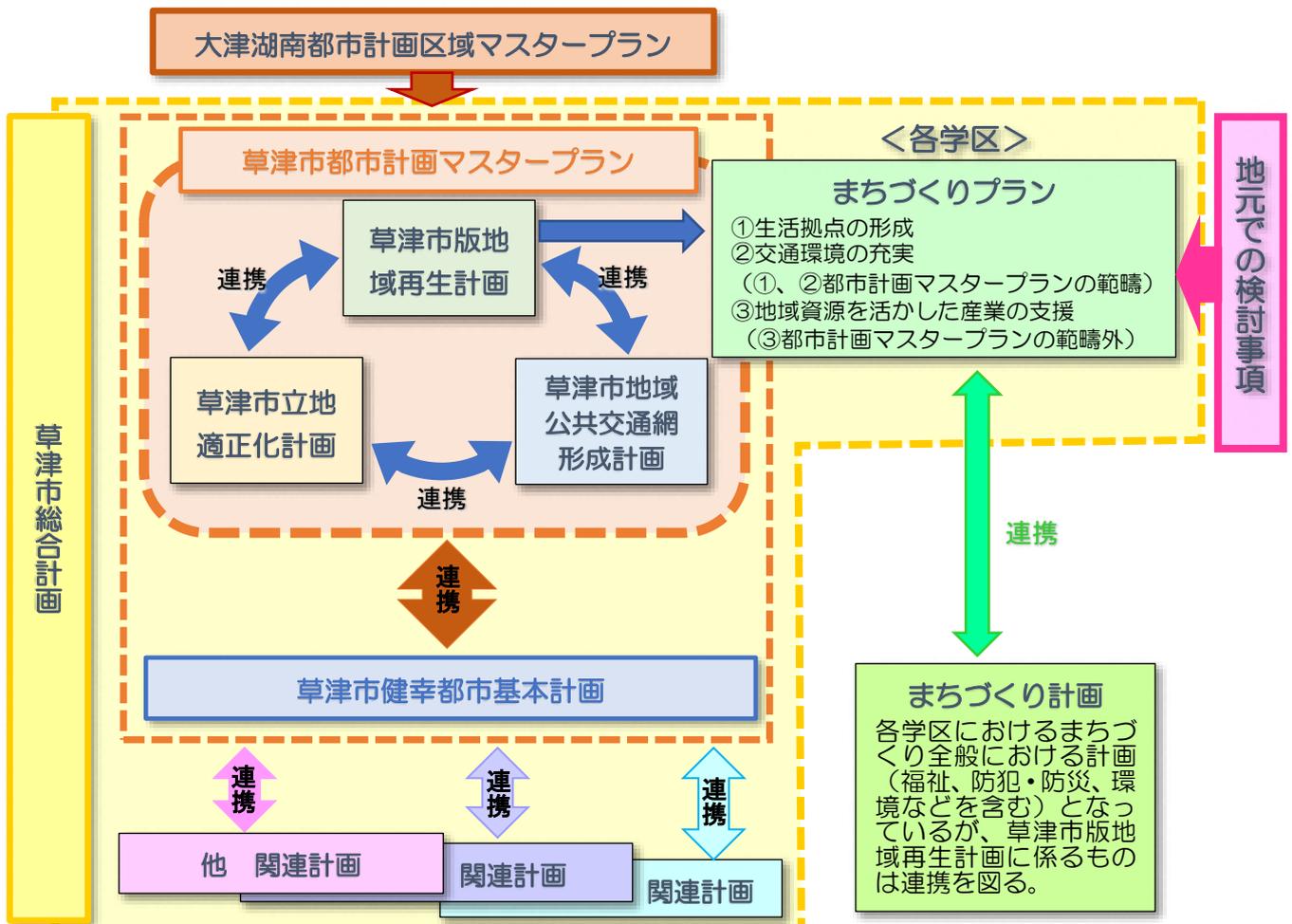


図-1. まちづくりプランの位置づけ

2. 笠縫東学区の状況

(1) エリア・人口・高齢化等の状況

① エリア

・表-1 に示すように、笠縫東学区は面積 251ha（市全体面積の約 5.2%）で、約 7 割が市街化調整区域となっています。図-2 は笠縫東学区の位置を示しています。

表-1. 笠縫東学区の面積割合（市街化区域と市街化調整区域）

	市街化区域		市街化調整区域		合計面積 (ha)
	面積 (ha)	割合	面積 (ha)	割合	
市全体	1,911	39.6%	2,911	60.4%	4,822
笠縫東学区	84	33.3%	167	66.7%	251

※面積は琵琶湖の面積は除いたものとしております。

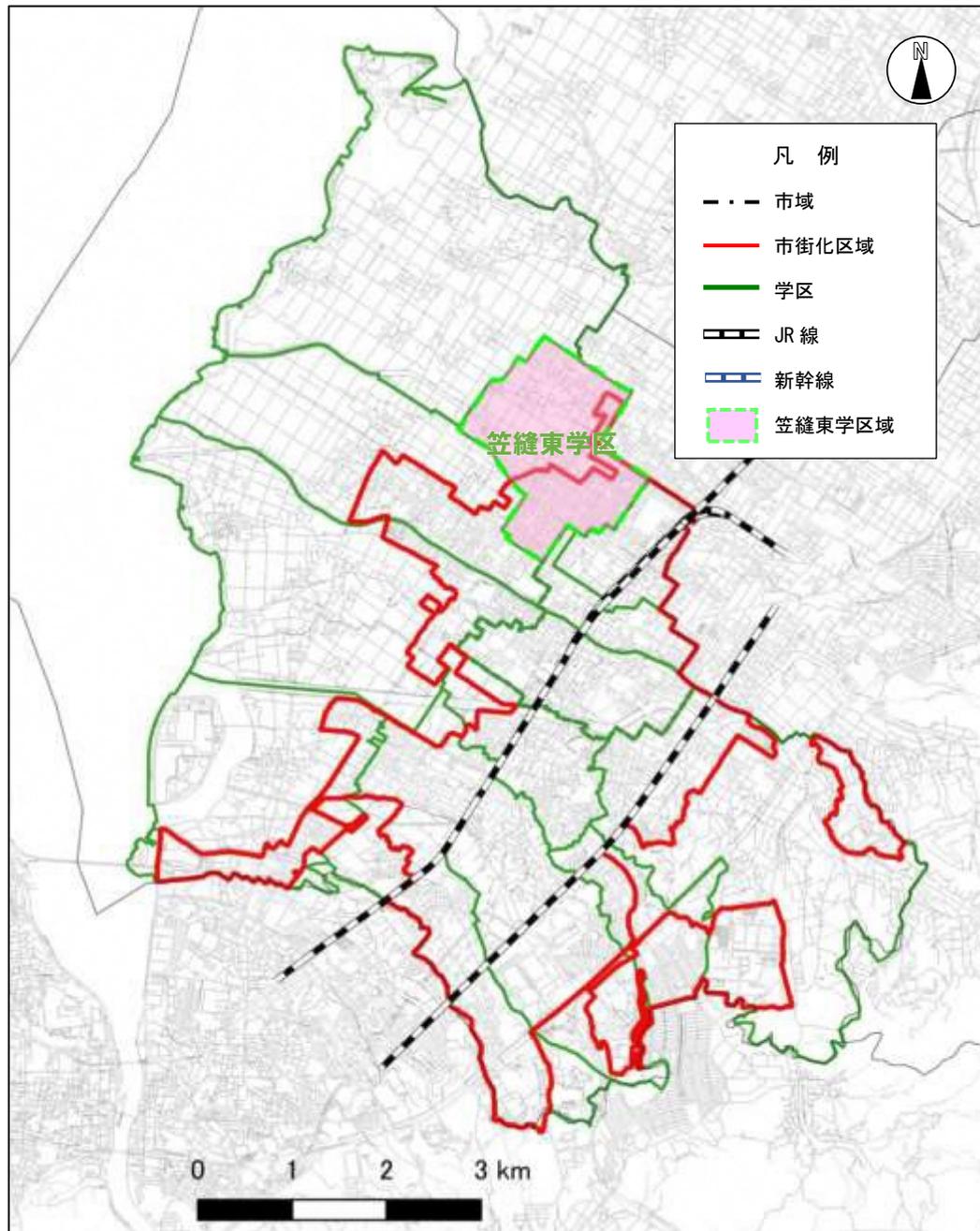


図-2. 笠縫東学区の位置図

②人口

- 表-2 に示すように、笠縫東学区では平成 22 年から平成 27 年の 5 年間で、学区全体ではほぼ横ばいであり、学区の市街化調整区域では約 300 人増加しています。しかし今後は減少傾向に転じ、令和 22 年に学区全体で約 7,100 人、市街化調整区域に限ると約 2,000 人となることが予測されており、平成 27 年と比べ、学区全体では約 3 割、市街化調整区域では約 2 割減少することが見込まれています。

表-2. 人口の現状と将来予測（平成 22 年、平成 27 年、令和 22 年）

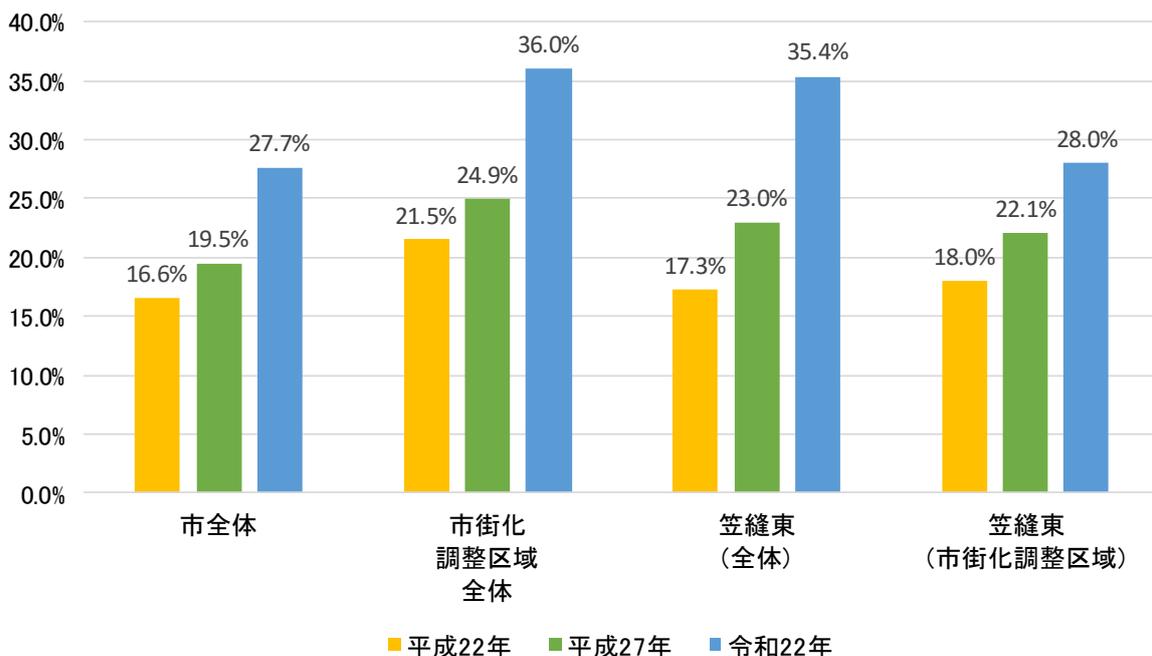
（数字の表記は千人単位としているため、実際の数値とは誤差が生じる）

	平成 22 年	平成 27 年		令和 22 年	
	人口（千人） （A）	人口（千人） （B）	増減率 （B/A）	人口（千人） （C）	増減率 （C/B）
市全体	130.9	137.2	4.8%	145.1	5.7%
市街化調整区域全体	25.0	26.5	6.0%	24.3	▲8.2%
笠縫東学区（全体）	9.9	9.9	0.0%	7.1	▲28.9%
笠縫東学区（市街化調整区域）	2.3	2.6	10.6%	2.0	▲20.9%

出典：平成 22 年、平成 27 年は国勢調査、令和 22 年は立地適正化計画基礎調査による推計結果データの積み上げ

③高齢化率

- グラフ-1 に示すように、笠縫東学区の高齢化率は平成 22 年から平成 27 年の 5 年間で、学区全体では約 5.6 ポイント、市街化調整区域では約 4.1 ポイントそれぞれ上昇し、22.9%と 22.1%になり、高齢化が進行していることがわかります。その後も高齢化が進むことが予測されており、令和 22 年には 30%近くなるが見込まれています。
- 市全体と比較すると高い割合で、市街化調整区域全体と比較すると低い割合で高齢化が進むと予測されます。



グラフ-1. 高齢化率の現状と将来予測（平成 22 年、平成 27 年、令和 22 年）

出典：平成 22 年、平成 27 年は国勢調査、令和 22 年は立地適正化計画基礎調査による推計結果データの積み上げ

(2) 生活利便施設の状況（草津市版地域再生計画の再掲）

- 生活利便施設は都市機能施設のうち、国土交通省の「都市構造の評価に関するハンドブック」において生活サービス施設としている、医療施設・高齢者福祉施設・商業施設の3施設を対象としました。

対象施設	定義
医療施設	病院・診療所で内科または外科を有する施設
高齢者福祉施設	通所系施設、訪問系施設、小規模多機能施設
商業施設	1,000㎡以上の大型店舗

- 徒歩圏人口カバー率は、国土交通省の「都市構造の評価に関するハンドブック」において、徒歩圏を一般的な徒歩圏である800m（バス停は誘致距離を考慮し300m）としており、対象施設の位置を中心とした徒歩圏内に存在する人口の総人口に占める割合としています。
- なお、徒歩圏人口カバー率は、町内会別ではなく町丁ごとの整理としており、人口については平成22年国勢調査データを使用しています。

①医療施設

- 図-3に示すように、笠縫東学区における医療施設は8箇所あり、学区内すべての地域で徒歩圏人口カバー率が100%となっています。

施設名称	住所	診療科目
第二富田クリニック	草津市駒井沢町395-1	内科
なかの医院	草津市平井1-15-26	内科、消化器内科
やまもとクリニック	草津市平井2-1-1	内科、胃腸科、外科、リハビリテーション科
岡診療所	草津市野村6-14-14	内科、小児科、外科
橋本内科医院	草津市川原町302-5	内科、循環器科
白波瀬小児科	草津市野村8-9-37	小児科
草津ハートセンター	草津市駒井沢町407-1	循環器科
こまいざわ外科クリニック	草津市駒井沢町397-1	整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科

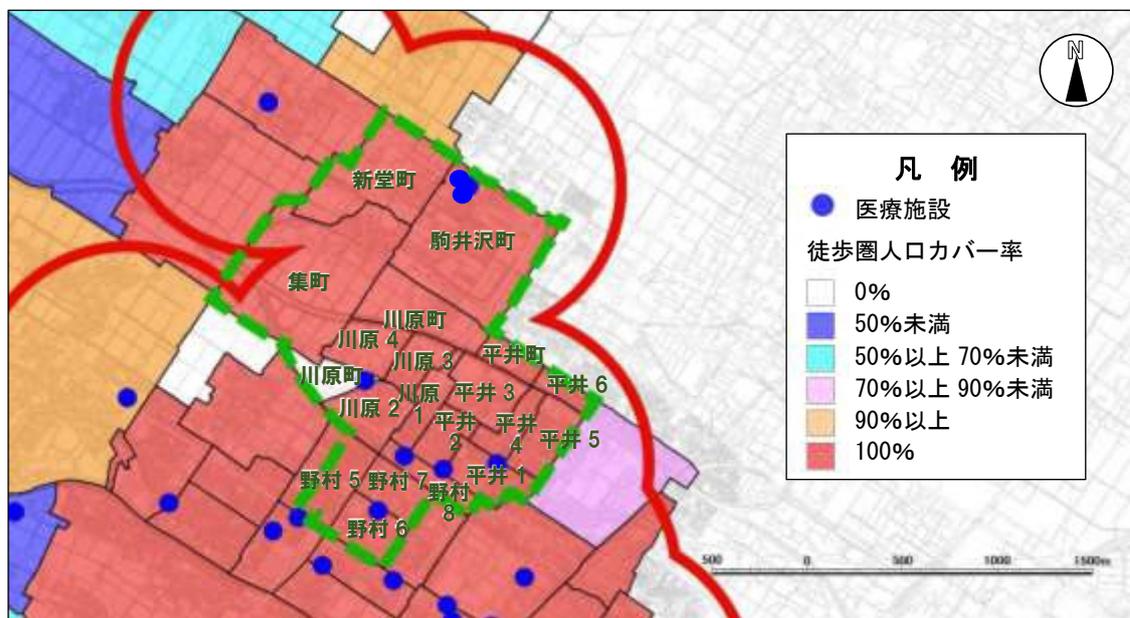


図-3. 徒歩圏人口カバー率 医療施設（データ整備年次 平成26年）

②高齢者福祉施設

- ・ 図-4 に示すように、笠縫東学区における高齢者福祉施設は、通所系が 4 箇所、訪問系が 2 箇所あり、隣接する学区にも多数立地しているため、学区内すべての地域で徒歩圏人口カバー率は 100% となっています。

施設名称		住所
通所系	デイサービス暖団 草津	草津市野村 7-17-11
	しが健康医療生活協同組合デイサービスセンター にじの家くさつ	草津市野村 7-9-17
	デイサービスセンターなぎさ	草津市集町 260-1
	特別養護老人ホームゆうすいのさと	草津市駒井沢町 400-1
訪問系	アサヒサンクリーン在宅介護センター滋賀	草津市野村 7-16-15
	小規模多機能型居宅介護事業所心	草津市駒井沢町 246-1

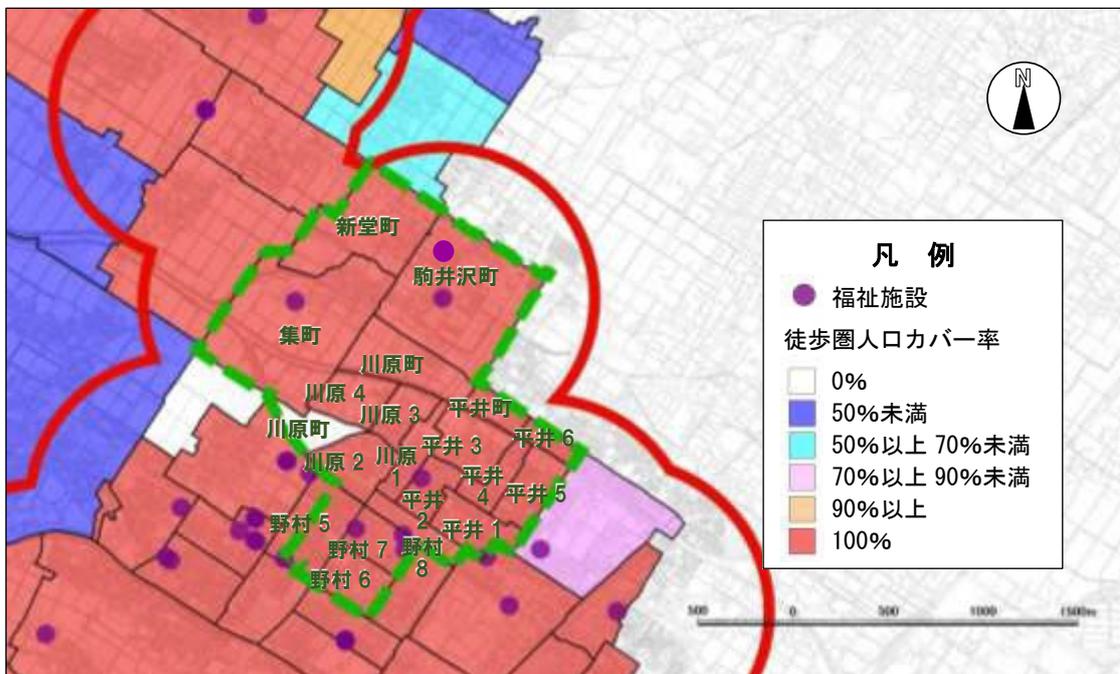


図-4. 徒歩圏人口カバー率 高齢者福祉施設
 (データ整備年次 公共介護施設 平成 27 年 民間介護施設 平成 28 年)

③商業施設

- ・図-5 に示すように、笠縫東学区における 1,000 m²以上の商業施設は 3 箇所あり、隣接する渋川学区にも施設が立地しているため、施設に近い駒井沢町、川原町、平井町、平井 1, 3, 6 丁目、野村 6～8 丁目の徒歩圏人口カバー率は 100% となっています。一方で、施設から少し離れた川原 2, 4 丁目では、50% 未満のカバー率となっています。

施設名称	住所
マックスバリュ駒井沢店	草津市駒井沢町 78
ブックオフ滋賀草津駒井沢店	草津市駒井沢町 33
マナビインテリアハーツ草津店	草津市駒井沢町 15

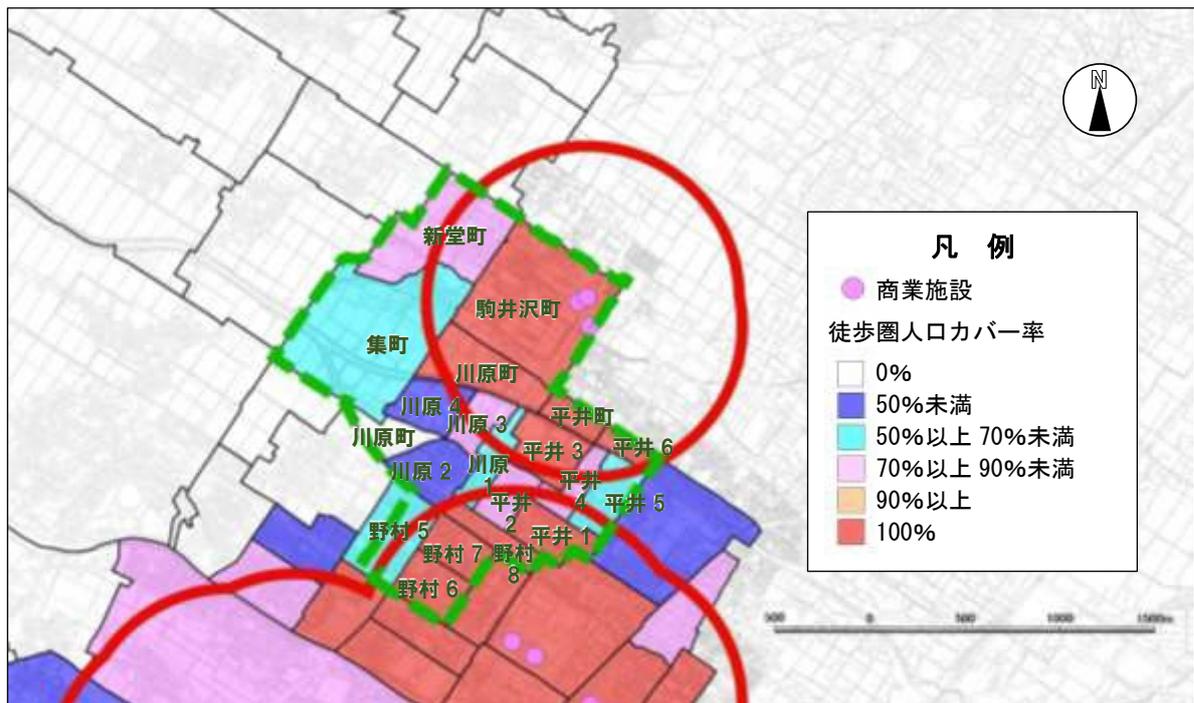


図-5. 徒歩圏人口カバー率 商業施設（データ整備年次 平成 29 年）

(3) 公共交通の状況

- ・図-6 に示すように、公共のバス路線が学区南西部境界線付近を横切る都市計画道路草津駅上笠線に通っていることから、笠縫東学区における基幹的公共交通¹の徒歩圏人口カバー率は、バス停に近い野村6丁目で100%、野村5丁目で70%以上80%未満、平井1丁目と野村7丁目では60%以上70%未満、野村8丁目で60%未満となっている以外では、そのほかのすべての地域でカバー率0%となっています。

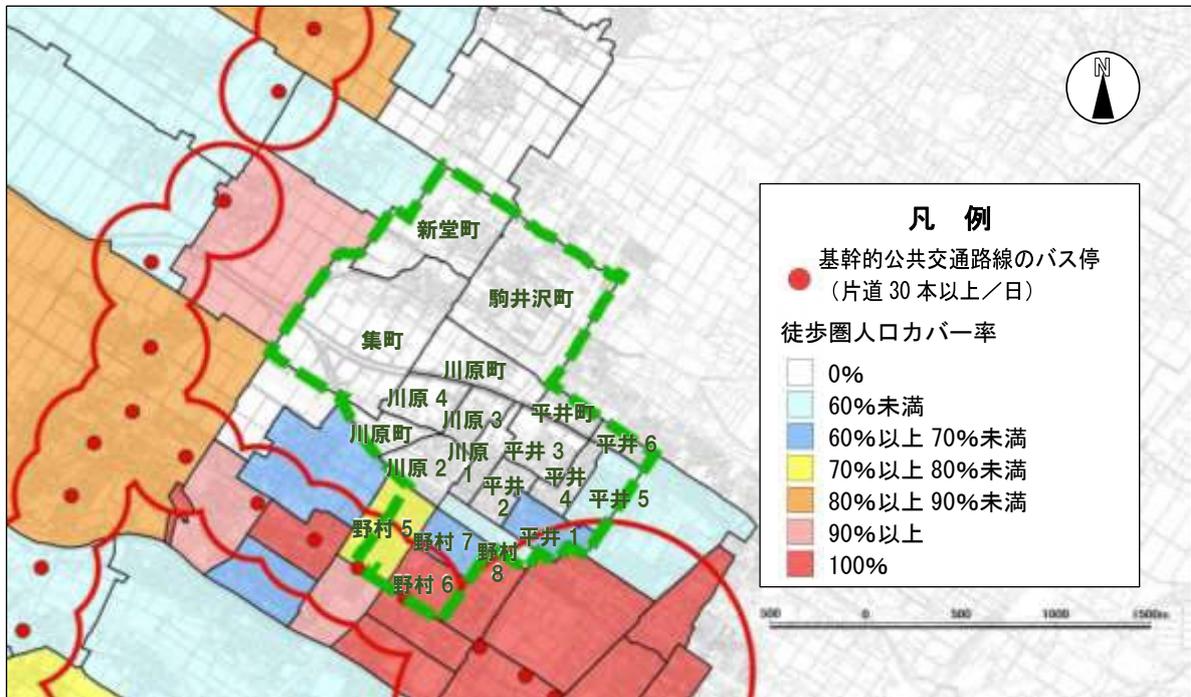


図-6. 徒歩圏人口カバー率 公共交通 (データ整備年次 平成 22 年)

¹基幹的公共交通は1日に片道30本以上の運行頻度のバスとしています。

(4) 地域資源の状況

《良好な自然環境》

・葉山川、中ノ井川、伊佐々川沿いは、地域住民の散策やジョギングコースとなっており、葉山川沿いには琵琶湖まで続くサイクリングロードが整備されています。また、ホタルやメダカの観測場所にもなっており、まちづくり協議会主催「ほたるフェスタ」でのほたる観察会などにより、地域の優れた環境を守り育てる取り組みが行われています。



ほたる観察会

・笠縫東学区内にある「天神社」は、国造り・農耕・豊穰の神である伊弉諾（いざなぎ）・伊弉冉（いざなみ）の二神に加え、御子神素戔鳴尊（すさのおのみこと）、奇稲田姫（くしいなだひめ）、尊の五男三女神八王子が祀られています。天神社一帯の7,248 m²が草津市の自然環境保全地区に指定されており、豊かな自然環境が見られます。



天神社

・笠縫東学区には図-7、表-3 が示すような良好な自然環境の地域資源があります。

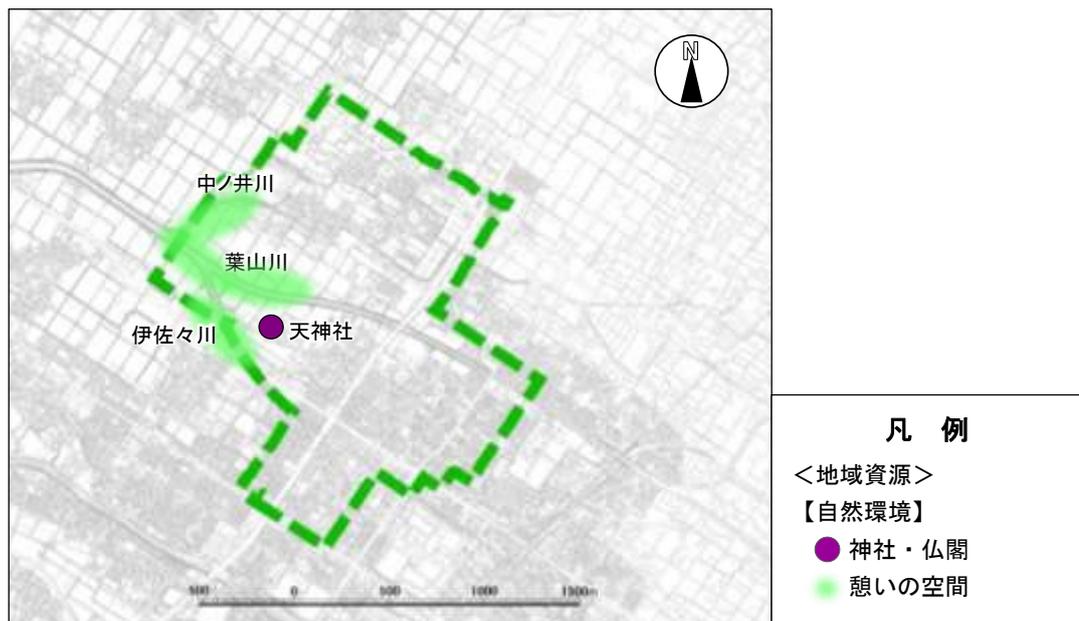


図-7. 笠縫東学区の地域資源分布図（主なもの）

表-3. 笠縫東学区の地域資源

地域資源				所在地
区分	名称	概要		
自然環境	神社・仏閣等	天神社	伊弉諾・伊弉冉の二神に加え、御子神素戔鳴尊、奇稲田姫、尊の五男三女神八王子が祀られている。	川原4丁目2-6
	憩いの空間	葉山川・中ノ井川・伊佐々川	葉山川、中ノ井川、伊佐々川沿いは、地域住民の散策やジョギングコースとして利用されており、ホタルやメダカの観測場所にもなっている。	新堂町、駒井沢町、集町、川原町

3. 笠縫東学区のまちづくりの経緯

①まちづくり計画【まちづくり協議会】

- ・笠縫東学区では、平成24年11月に「笠縫東学区まちづくり協議会」を設立しました。協議会では、「安全安心、見守りと触れ合いのまちづくり」をスローガンとしたまちづくり計画（第三次）を平成31年4月に5年間を計画期間として策定し、まちづくりに取り組んでいます。

地域の将来像 (スローガン)	「安全安心、見守りと触れ合いのまちづくり」 ～健康で生きがいを育むまちづくり～
まちづくりの基本方針	① 安全・安心で心豊かに暮らせるまちづくり
	② 健康でふれあい支え合うまちづくり
	③ 子どもたちの夢を育むまちづくり

②笠縫東学区まちづくりプラン（本計画）

- ・草津市版地域再生計画における笠縫東学区の将来ビジョンを切り口として、検討した具体的な施策を提示します。